

おにぎりマン

逢隈小学校 三年 石田 誠

ぼくは、おにぎりを見るよ、父ちゃんのこと
を思い出します。

父ちゃん、はずっと入院していました。ハッ

と、は、が、よう院の、は、ん、か、食、べ、ら、ま、た、ん

が、した。でも、お母ちゃん、お作、り、た、小、さ、り、一、口

か、に、キ、リ、は、食、べ、ま、し、た、。

だから、ぼくはお母さんは、早、起、き、を、し、て

小、さい、お、い、さ、り、を、た、く、さ、ん、作、り、ま、し、た、の、ゆ

逢隈小学校

に、ま、ま、ご、も、作、り、ま、し、た、の、か、ん、せ、ん、タ、ー、に、行、く

と、牛、の、か、ら、お、い、屋、さ、ん、が、あ、り、ま、し、た、の、お、母、さ、ん

ん、は、か、ら、お、い、け、を、買、い、ま、し、た、。

ぼくは、おにぎりよ、ゆ、で、た、ま、ご、り、の、か、い

あ、い、を、持、て、お、い、ち、や、ん、の、と、ろ、に、ビ、ン、コ、ッ

ク、に、行、き、ま、し、た、。病、室、の、ゆ、か、に、し、き、も、の、を

し、い、て、ビ、ン、コ、ッ、ク、を、し、ま、し、た、。

白衣をきた先生が、おんごしさんか来、て、

「家族で乗、ら、ろ、で、す、ね、。」

と、言、い、ま、し、た、。

ぼくは、たくさんおにぎりを食べました。
父ちゃんも、うまいなあ、と言っていて、おにぎ
りを食べました。

父ちゃんは、ぼくたちのおにぎりが「一番
おいしくて、好きだ」と言っていて、いきました。

ぼくは、本当に父ちゃんのおにぎりが好き、
たんだと思いましたが、父ちゃんの正体は、お
にぎりマンなんだと思いました。

父ちゃんはおにぎりを食べられなくなりました。
ぼくとお母さんは、父ちゃんがおにぎりを

逢隈小学校

るからおけの中に、おにぎりを入れました。

天国に行くとおにぎり、かながすかないように、

元気でいられますように、と願って入れました。

た。父ちゃんが、おにぎりをかき混ぜて、いきました。

ぼくが、おにぎりを食べて、ごはんが食べられ

なくなると、お母さんは、小さい一口おにぎ

りを作ってくれます。ぼくも、おにぎりマン

です。